科目名	応用栄養学Ⅱ	科目分類	□基礎教育科目　■専門教育科目 □卒業必修 □栄養士必修 ■選択
英文表記	Applied Nutrition　Ⅱ	開講年次	□１年 ■２年
ナンバリング	NH232E	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
ふりがな	ひろたゆり	授業形態・修得単位	講義・２単位
担当教員名	廣田　由利	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	

授業のテーマ	ライフステージ、ライフスタイルに対応した栄養マネジメントの考え方を学ぶ
授業概要	栄養マネジメントに関する理解を深め、ライフスタイル別に症例を挙げ検討、栄養ケア・プログラムの立案を行う。
到達目標	ライフスタイル別の栄養、栄養マネジメントに関する理解を深める。
授業時間外の学習	次回テーマに関する予習を文献等で下調べを行い、授業終了後は復習を行う。
履修条件	応用栄養学Ⅰの単位を修得していることが望ましい

授業計画

第１回	テーマ：「ガイダンス」アセスメント　検査値の見方
第２回	テーマ：「食事バランスガイド」解説　演習
第３回	テーマ：「栄養ケア・マネジメント」栄養アセスメントの方法　ケア・プログラムの立案
第４回	テーマ：推定エネルギー必要量の計算
第５回	テーマ：「妊娠･授乳期栄養ケア･プログラムの立案①」 症例　妊婦貧血　妊娠高血圧症候群(妊産婦)
第６回	テーマ：「妊娠・授乳期栄養ケア・プログラムの立案②」症例　栄養不良予防と改善（産婦集団・個人）
第７回	テーマ：「乳児期栄養ケア・プログラムの立案」症例　ウイルス性胃腸炎・フェニルケトン尿症（乳児）
第８回	テーマ：「幼児期栄養ケア・プログラムの立案」症例　食物アレルギー（乳幼児）
第９回	テーマ:「幼児期栄養ケア・プログラムの立案」症例　やせ　偏食（幼児）
第10回	テーマ：「学童期・思春期の栄養ケア・プログラムの立案」症例　肥満　貧血（中学生）
第11回	テーマ：「成人期の生活習慣病」糖尿病　脂質異常症　高血圧　動脈硬化の進行　予防と対策　特定保健指導
第12回	テーマ：「成人期･更年期　栄養ケア･プログラムの立案」症例　肥満(成人男性)　脂質異常症(更年期女性)
第13回	テーマ：「高齢期･栄養ケア･プログラムの立案」症例　低栄養（高齢女性 ）①
第14回	テーマ：「高齢期･栄養ケア･プログラムの立案」症例　高齢者施設　栄養管理②
第15回	テーマ：「高齢期」摂食･嚥下障害　ロコモティブシンドローム　骨粗鬆症　変形性関節症　まとめ
第16回	定期試験

テキスト	（編集）小切間美保ほか　ヴィジュアル栄養学テキスト　応用栄養学　　2023年9月　中山書店
参考文献・資料	参考文献等は授業の中で適宜紹介する。資料としてプリントを配布する。
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験（70%）課題（30%）を基本として総合的に判断する。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
オフィスアワー	2年生：木曜日 16：20～17：50
受講生に望むこと・受講のルール	主体的に取り組むこと。